晩年

D・A・N 通信

No.3

2022.11.21～2023.2.20

団　士郎

２０２２年夏、東京・丸の内 oazo の maruzen で全く知らなかった平積みの本に手が伸びた。理由は裏表紙の文字、『またやって来たからといって、春を恨んだりはしない・・・』。前作の一節だと書かれたこの言葉に魅かれた。どこかで目にした記憶があるが思い出せない。その詩集を購入した。（後で検索をかけて思い出した。池澤夏樹著「春を恨んだりはしない－震災をめぐって考えたこと」の記憶だった。）

若い頃、谷川俊太郎の詩集を買ったことがあった。吉野弘詩集を買った記憶もある。黒田三郎詩集も持っていた。天野忠詩集は分厚い全詩集を持っている。しかしどれも三十年、いやもっと前のものだ。詩集とはずいぶん縁がなかった。

それが思いがけず七十九歳の女流詩人の最晩年詩集を手にすることになった。「すごいおばあさんの本だ！」と思ったのだが、よく考えたら私より四歳だけ歳上なのだった！読み始めると実に静かに胸にしみてきた。静かというのが一番の印象だった。

自分が人生の晩年にあることはいつも意識している。おかしな言い方だが、この年齢で晩年であることを有難いと思っている。それは昔、児童文学者の上野瞭さんに依頼されて、「晩年学フォーラム」の会報にずっとマンガと短文の連載をしていて、その時に「晩年」は「老年」とは違うことを学んだからだ。

人は誰も自分の晩年がいつ頃であるかを知ることはできない。亡くなって初めて、その人の晩年期は確定する。大好きな小説「ハーモニー」、「虐殺機関」等を書いて３４歳で早逝した伊藤計劃など、あれを書いていた時期が晩年だった。彼は病床にあったから、そのことを意識していた。それは作品に反映されている。

だから私が７５歳になって晩年を考えられているのは、運が良いということだ。一人暮らしになってはいるが、孤独でもなく、することがないわけでもない。無論あくせくしているわけでもない。好きでバタバタしてはいるが。今のところ心身の健康に不安があるわけではないので、特別なことが書きたいわけではなく、七十五歳以後の日々を、振り返りながらあれこれ連想的に拡げていくことになる。

2022/11/21～

▲月▲日

対人援助学会 zoom 開催二日目が充実の終了後、約束してあった次男と、久々に地元瀬田川沿いにある鰻の「ちか定」へ。近年、どんどん有名になってきて、行列しなければならなくなった。

故郷、琵琶湖畔では当然のことながら淡水魚を昔からよく食する。鰻に限定すれば名産地や有名どころは他県にも多いが。

しかし写真を見てもらえばわかるように、鰻丼の他に、鯉の煮付け、小鮒の酢の物、鯉の刺身、鰻巻、鯉こく（白味噌仕立てのお汁）。そしてやっぱり丼がめちゃくちゃ美味。

単品で鰻丼か鰻重の選択ももちろんあるが、やはりいろいろ食べたいから定食を選択。常連の知恵として、赤だしは鯉こくに変更、蒲焼きは丼にしてもらって、煮付けもできれば子付きの鯉にと願いする。そして熱々の鰻丼は桁違いに美味い。

大津市内には有名店「かねよ」があり、我が家の法事では定番利用する店だ。加えて、時には出前も頼む。しかし近年、値段は圧倒的に高いのに、「かねよ」は逢坂山の本店の座敷を利用することが主目的になってしまった。鰻料理の美味しさでは、圧倒的に「ちか定」である。

こちらは基本、田舎料理の量である。だから美味満腹。二店舗を使い分けることになる。

近頃は開店前に並んでいる車のことを思うと、運転をしない私には、訪れる機会が圧倒的に少なくなった店である。

▲月▲日

自宅の wifi が不具合で、触っていたら繋がらなくなった。面倒くさい。そもそも仕組みをよく理解しているわけではないので、うまくいっているときだけ快適で、トラブルと早速ストレスである。

連動して大型画面で楽しんでいる Netflix も具合が悪い。そんなときに、嘘か本当か識別できない知らせが届く。お使いの＊＊契約サービスは 23 年 1 月 31 日で終了します。ご契約の支払いが出来なくなっているので、再度、契約をし直してくださいとかなんとか。基本的にすべて無視しているが、根拠なく、そんなせいで繋がらなくなっているのかもと思ったり。

とにかく、関心も意欲もない高齢者には、カタカナ交じりの説明も、丁寧な対応も要らないから、スムーズに使わせておいてくれと思う。

なのに、長年使っていた炊飯器の具合まで悪くなったので、仕方なく amazon で目についた圧力 IH ジャー炊飯器なるものをポチっておいたら届いた。(アイリスオーヤマの安いの)

すぐ開封しないと段ボールのまま放置があり得るので頑張ってセットしてみた。手入れが少し面倒そうだが、炊き上がり次第か。

水加減が微妙で二度、好みよりも堅かった。そんなことをしていると、米ビツが空になったので米をネット注文。その結果、三度目からは新米を水加減もわかってきた圧力炊飯器で炊いて美味しく食べている。

▲月▲日

家族心理学会依頼の 1 日 zoom ワークショップが終了。プログラムの合間、世話役の N さんと今関心のあることをあれこれ話す。

この週末は金曜の zoom 講座 5 回目に始まり、土曜の家族応援プロジェクトと今日、三連発の zoom だった。さぁ月曜日は休み。何するかな？

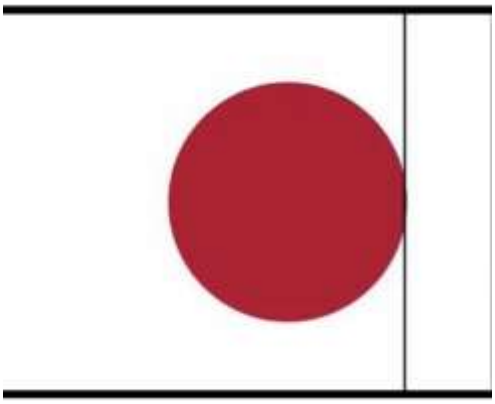
そんな間にも、W杯カタール大会は事前の空気とは大違いに盛り上がっている。

私はライヴでスポーツ観戦が出来にくい体質で、結果が出たもののダイジェストを楽しむのが好きだ。ハラハラしながらその場に留まっているのが苦しいし疲れる。

それでも第一試合のドイツ戦は頑張って大画面TV スポーツ観戦の好条件で臨んだのだ。しかし前半ドイツが得点したところで心が折れて風呂で読書していた。風呂上がり、スマホの速報が目について、大慌てで映像に戻るとお祭り騒ぎだった。安心して何度もシュートシーンを観た。

ついでに abemaTV、日向坂 46 影山にも初お目見え、「あなたのハートにゲーゲンプレス」か。

コスタリカ戦は余裕かと思っていたら、そうはならずくじけた。もうだめだからスペイン戦は結果だけで良い姿勢で他のことをしていた。するとまたスマホが大騒ぎしている。そして「三苫の 1 ミリ」で勝利。興奮した。そして、ネットで見つけたこのイラスト、『うまいなぁー』、脱帽だ。



▲月▲日

昨日、仕事場を訪ねてくれたのは、昔、妻にピアノのレッスンを受けていた人。大人になってから習いにきていた。そんな繋がりがきっかけの懐かしい昔話をいっぱいした。体調を崩す前はよく、この紅いグランドピアノの前にいた。探したらこんな写真があった。今はもう誰も弾かない。

▲月▲日

映画「ザリガニの鳴くところ」の話をしていた人から、「あの娘の半分は自然なのだ」と聞かされて、納得してしまった。

タンカー事故で汚された海岸がやがて回復するように、自然は傷ついたなどと訴えないで静かに再生する。汚染を分析したり恨んだりもしない。あの子はそうなのだ。だから孤独だ。

そしてこの作家はどうしてあんな結末の物語を書いたのだろうと思った経過を、トークライブの一話として話すことになった。

▲月▲日

今夜は 23 年目になるという草津の家族勉強会シリーズ。それにしてもなんという継続。私もだが世話人も、リピーター参加者も。

めったにやらない質問を受けて、私が自在に話す回にしてみた。

何をやっても私は私だが、続けることが肝だと思っていることは揺るがない。そういう風に生きてきて、今もそれを繰り返していて疑問はない。

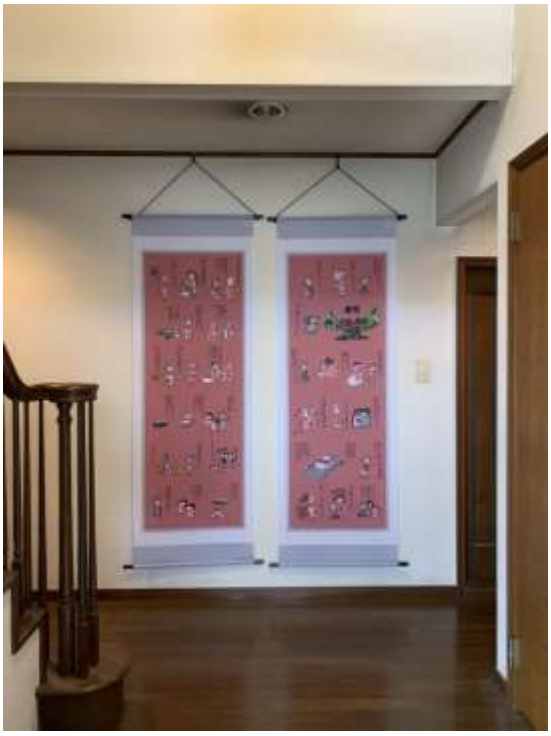
▲月▲日

東大阪市にあるここで開かれた落語会に、マンガ仲間の篠原と行ってきた。南光さんも同じ漫画集団ぼむのメンバーだ。

司馬遼太郎記念館の館長夫妻は、私が初めて原稿料を頂いて漫画や文章を書いたサンケイ新聞

の編集者だった方達だ。南光演目の「抜け雀」、40年以上前、落語・志ん生のレコードを結構な数コレクションしていて、その中で聞いた噺だ。今日もとても面白かった。

▲月▲日
　思いついて家の玄関に掛軸マンガを下げてみた。雰囲気が変わった。誰に見せるわけでもないのだが、気に入っている。



▲月▲日
　道具が増えると不具合も増える。体調の不具合は極力少ないよう心がけているが、物については何ともならん。繋がらなくなった Wi-Fi をサポートセンターで確認し、交換に来てもらった。

　その間、宅配を受け取ったり、340 ページ余の対人援助学マガジンを印刷製本しながら復旧を待つ。
　直ったのではあったが、二週間も経った頃に、また不具合になった。面倒くさくなって今も放置状態。そのうち何とかせねば不便だ。
▲月▲日
　明日の zoom 版トークライヴの準備をしている。70 人ほどの人が申し込んでくれているとか。今回は本「ザリガニの鳴くところ」の話と、人物「沢木耕太郎さん」の話を一時間ずつ、二本立てで聞いてもらう予定だが、その構成に手間取っている。
　近年、『家族理解 zoom 連続講座』をするようになり、そちらの話の展開進行は定番化できている。それと比べると新作感いっぱいだから、あれこれ考えてしまうのだ。

▲月▲日
　トークライヴが無事？終わって、年内の公式予定は終了。気になっていた話の中身を今日、ビデオ視聴の人達用アーカイヴスを見たがまぁまぁだと思えたのでよし。
　午後から、久々に出会う人が来訪。三時間ほどたっぷり話し込んだ。これで年内は人と会うか、仕込みか、1 月予定の準備。年末だから大掃除でもするかな？とは、言ってみるだけ。

▲月▲日
　情報に触れても、なかなか腰が重い。それではいけないと思うので努力すると、やはり十分見合うものに出会う。ネット告知で見た立命館大学衣笠キャンパスでのイベント、結構な参加者で、なかなか腹にこたえるものだった。思わず語りたくなること満載だった。
　そして自分の感覚がそう老けているわけでもないとも思えた。倍賞千恵子さんは良い。テーマはいかにも若い監督の切り取りたくなりそうな設定だなと思った。

▲月▲日

2022 年の年頭からホームページに、毎週連載で「あ」からスタートした 70～90 年代映画パンフレット・コレクション・コラム「私的埋蔵文化財」が一年続いて、いよいよ「わ」に。

時々、どうしても一本に絞り込めなかったり、一回は飛んでしまったりして、年内に収まらず 2023 年にオーバーランすることになった。興味があればここに連載しております。

www.shiro-san.com pic.twitter.com/MkbAKDkNh4

HP での週刊連載はこれでちょっと一息つくことにしたが、春になったら再開も考えている。
誰が読んでくれているかはわからないが、自分のための記憶記述は、あとから誰かが意味を見つけられたりするからね。

10 年以上前、妻が脊柱管狭窄症の手術をして養生していた頃、慌ただしく仕事に走り回っていた私の提案で、交換日記をしていたことがある。ノート二冊分くらいだが、それが今、とても懐かしい書き文字蓄積になっている。何かが残っているのは嬉しいところのあるものだ。

▲月▲日

ここ 2 年ほど、youtube で目につくと「山田五郎の大人の教養講座」をみる。結構な数をみていて、絵画の蘊蓄雑談の面白さを堪能している。

そこで話題になった映画を観た。面白く落ち着いたいい映画だった。いきなり NHK 受信料と同じ話が出てきて、おおそうだった BBC がこの方式だと思い出した。いろいろ繋がっている。

▲月▲日

元々正月に関心は薄かったが、一人で暮らすようになってますます年末、年始のスタイル、作法と関係なく、一人楽しむ時期になっている。読書したり、映画を観たり、調理したり、原稿を書いていると日々は過ぎる。

私は元気です。年賀状も失礼するようになって数年になりましたが、みなさん良いお年を！

2023

▲月▲日

あけましておめでとうございます。今年もつぶやきます。ツイッター開始から 13 年目、よろしく。

昨晩（大晦日）、次男がやってきて、歓談しながら蕎麦を食い、元旦は誘われて多賀大社に初詣。名物「糸切り餅」を食ったあと、青龍寺に墓参りに。「一人では来ないやろう」と言われる。その通り。思いがけず正月を堪能してしまった。

▲月▲日
　2022 も週 1 度ぐらい世話になっていた仕事場近くのお惣菜屋さん。大晦日の午後に前を通ったので覗いてみたらおばちゃんが、「うちの棒鱈はおいしいですよ」と言う。
　そもそも棒鱈を食べた記憶がないが（いやいや、大昔、八坂神社境内の『いも棒？』とかいう店で、料理に出たのを食べたことがありそうな気がするが、美味かった記憶はない）、言われると断れない。で、バラ売りのお節からいくつか購入していた。その結果、今朝は正月っぽい朝食に。

▲月▲日
　調理をする時にエプロンをするのが嫌いだ。汚したら洗濯するのも自分だから良いだろう。エプロンを付けるとお手伝いの気分になるのが好きじゃない。
　最近お気に入りの人参マシマシカレーの準備。昨日、次男と食べて作り置きがなくなったので。今夜の鉄板焼きの用意と兼ねてキッチンに。

▲月▲日
　自宅に長年の友と遠来のお客さん夫婦が来訪。話し始めるといろいろ語ってしまう。つくづくお喋りだなぁと思いながら、聞き手が挟んでくれる整理から、新たなことにいくつも気がつく。
　年末年始は心がけて、一年一度くらいになる人との面談を働きかけている。対話はクリエイティブだ。近年、ますます独演が多くなっているから、心がけなくちゃ。

▲月▲日
　地元、滋賀の友人二人が夕刻から自宅来訪。児童福祉業界人なので、いろいろその辺りの現実も聞いたり、例によって時節事情の放談会。楽しかった。明日からは三日間 KISWEC（京都国際社会福祉センター）の WS で十七人の参加者とご一緒する。新春の仕事始まりだ。

▲月▲日
　さぁ始まった 2022 年度家族療法 WS step2。十七名の参加者は step1 を受講済みの人ばかりなので、いろんなテーマも、踏み込んでいける。
　世の中がうっすら表面をなでるような対人援助サービスで溢れる中、役に立つことを求めて、深入りの練習中。

▲月▲日
　三日間の WS が終わった。午後 4 時前には皆さんに帰路についてもらい、片付けて四条河原町に出た。 MARUZEN で本を物色したのだが、どうしたことか気が乗らない。
　その中でこの本のハルビンやチェルノブイリの地名に惹かれた。加藤登紀子さんかぁ、学生時代の憧れだった。いろいろ思い出はある。

▲月▲日
　世間は祝日の夜。私は今から仕事場に向かう。その途上で夕飯にしようと思ったがレパートリーが少ない。たまには思い切って、入りそうにない店を！と決心。
　まず、通ったことがなさそうな木屋町からさらに入り込んだ路地、その通りの 2 階にある店。テーブル 4 席の二つには欧米人カップル。どういう店だこりゃ。バーガーの店。美味しい。

▲月▲日
　長いことかかって読み終えた。「このミステリーがすごい 2022　ベスト 1」のこれ。長い長い物語。誰も過去から解き放たれることはないと宣言したような街、人々、記憶。私には歯がゆいくらいに過去の出来事に縛られた物語だが、読むのを止めようとは思わなかった強い何かがあった。

▲月▲日
　今日出発して、明日には戻る北海道遠征。このところ気に入っているこれを空港で食す。リムジンバスの中もずっと読んでいる本が、ウクライナ侵攻中のこの時期、刺さってくるものがある。
　そうだった、そうだった、少し先輩の加藤登紀子さんの体験、記憶は心に沁みてくる。
　天気予報で聞いていたように積雪の札幌。夕刻のイルミネーションが綺麗な街で寿司を食う。上映時間の関係で見損ねているうちに、近所の映画館では終わってしまった「RRR」をホテルのすぐそばのシネコンで観る。19 時 40 分からは好都合。
　「バーフバリ」が気に入った監督のインド映画。とにかく楽しい。

▲月▲日
　勝手知ったる札幌の会場「かでる 27」で、北海道高校養護教員向けのお話。たくさん本を買って下さった方達から、嬉しい声を聴く。
　時季外れの雪解けの頃のような気温の中、ホテルに荷物を取りに戻り、隣の紀伊國屋書店で知らなかった本を一冊購入して、早々とエアポートライナーで新千歳空港に。

▲月▲日
昨夜は zoom 講座「家族を学ぼう」第 5 シリーズの初回を 20 時 30 分から。隔週 6 回継続がスタート。
そのまま仕事場泊まり込みで今朝は、明日 15 日の家族カウンセリング協会 zoom 研修の準備を TULLY'S で。
年明け、新規の仕事依頼がメールで届くと嬉しくて、忙しいのについ引き受けてしまう。

▲月▲日
お笑いは好きだが特に誰かのファンではないし、熱く語ることもない。「笑い飯」のこともそんなに好きではない。週刊文春に連載されたものが本になっているのは、「嫌われた監督」(これは面白い本だった)と同じ。面白く読んだが、すぐに忘れてしまうだろう。M-1 は漫才ではなく、M-1 という競技なのだ。なるほど納得。

▲月▲日
昨日は三時間の zoom 研修を無事終えた後、夕刻から来客。楽しくあれこれ四方山話。
そして今日から、スケジュールが一息ついたので、春のぼむ漫画展用の掛け軸作りに取り掛かる。
作業 BGM にこのところハマっているこのメドレー。ウキウキするのがいい。

▲月▲日
もの事には時があって、本にも手に取るタイミングがある。「太陽の子」は発売直後に買ったが、置いてしばし眺めていた。何だかわからないが、今だなぁと思って読み始めたら面白い。
著者の取材に同行するような気分で、話がドンドン前に進んでゆく。どうなっていくのだろう。六年かかったと筆者の書く本を、結局三日で読んでしまって、大きな深呼吸をする。
自分に与えられたテーマには、しのごの言っていないで向き合えということだな。私も頑張ります、三浦英之さん！

▲月▲日
今日、新刊が届いた。綺麗なブルーの仕上がり。17 年かかって九冊目。「家族の練習問題　第9巻」2 月 13 日発売なので、もうしばらく先ですが、どうぞよろしく。
あらためて通読してみる。すぐに読めてしまうが、我ながらいいなぁと思う。

▲月▲日
ドキュメンタリー「キャスティング　ディレクター」を観た。2011 年に亡くなったドハティの仕事を、たくさんの監督や俳優が称賛している。
　しかしアカデミー賞にはキャスティング部門はなく、長らくタイトルクレジットもされなかったという。誰かの素晴らしい仕事を認める力も能力だ。

▲月▲日
昼前に目覚めた仕事場で、ぼむ展準備のカラーリングの続き。あっという間に時間が経つ。夕飯に表に出て、行きつけの店で美味しいトンカツ。本屋を覗いて毎月購読の「本の雑誌」購入。その後、タリーズでしばし読書。この後また戻って作業の続き。今夜も仕事場泊まり込みだな。

▲月▲日
久しぶりに朝 7 時過ぎに家を出る。小雪混じりの曇り空。普段、昼前にしか起きないから、ことさら朝を感じる。昼過ぎには、私のノルマは終えている予定の土曜日。とりあえず新幹線でC君と東へ。

▲月▲日
浜松で夏に行うイベントのプレ勉強会。私の担当は朝、家族理解 2023。午後はＣくんが、二十年近くも立命館大衣笠キャンパスで続けていた「家族事例検討会」スタイルを実施。無事、終了。

▲月▲日
WS 世話人H君の車案内でC君と初浜松観光。浜松に砂丘があるなんて知らなかった。ウミガメの産卵、保護の話がこんな場所にもあるなんて。
　浜松まつりって？と思ったが、この大凧、見たことあるなぁ。そして締めはやっぱり鰻だ。白焼と蒲焼で共水うなぎを堪能。新幹線のダイヤ乱れもなんのその、無事京都に。

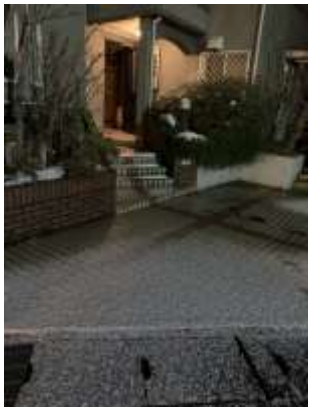
▲月▲日
　漫画仲間の篠原ユキオが、ウクライナ支援展に続いてミャンマー支援の漫画展を開催。
　私は一コマ漫画を描かなくなって久しいので出品作はないが、展示のお手伝いに。いつもの京都市役所西隣、寺町のギャラリー余花庵で。2 月 5 日までやっています。

▲月▲日
日本中が雪の中らしい。京都市内の正午頃、外出して急ぎ足で歩いたら汗ばんだのに、午後3時頃から雪模様であっという間に仕事場周辺はこれ。
あちこちでトラブっているようだが、皆さんご無事で。私は篭ってあれこれの準備をしよう。

▲月▲日
昨夜、帰宅はやめておこうと考えたのは、夕方の雪景色を見た気まぐれだった。その結果、気づかないところで、交通トラブル渦中に巻き込まれるのを回避していたようだ。
今夜はなじみの地名がニュースで連呼され、列車立ち往生の話題ばかり。寒いなぁ。（知人が巻き込まれていたことを、後から知った）

▲月▲日
さあ今年もシーズンがやってきた。確定申告のための帳簿整理を例年のように行う。この作業を始めると１年間の自分の動きがなんとなく理解できる。最後は毎年、義弟の税理士にお願いするのだが。コロナ禍の中、後期高齢者としてはなかなか活動的に動けた１年だった。

▲月▲日
午後、三時間半の zoom 講義を無事終えた。夕刻からまた雪模様というので、早めに帰宅。雪のせいで結果的に、今週はずっと仕事場泊まりだった。
明日はゆっくりしているので、久しぶりの自宅が楽しい。録画してある何を観ようか、積読本の何を読もうか。外はうっすら雪化粧。



▲月▲日
足下は氷雪の残る大津から、こんな快晴の場所に。三島（静岡）に来ると立ち寄るビュフェ美術館に三度目の訪問。
戦後、脚光を浴び、そういう人の宿命のように影が薄くなった。一時期は日本のマーケットでも多用され、消費された。画家自身も苦しかった様子が画業後半の作品から見える、なーんて偉そうに。
館内は私の訪問中、他の客は誰もなかった。そういうことなのだろう。

▲月▲日

で、三島といえば私的にはここ。先週は浜松、今週はここと連続鰻。広小路の桜家は 4 回目かな？美味しく食べてホテルへ。伊豆箱根鉄道で一駅。反対方向に乗れば、伊豆修善寺に行ける。

▲月▲日

初めて訪れた裾野市ってほんと、富士山のすそ野だ。静岡県は気温が暖かい。日本全国寒波だった時期に、雪のゆもない。いやいや富士山頂には見えたけど。とにかく温暖の地のようである。それがいいのか、悪いか、そこは何とも言えんが。
帰路、「こだま」に乗ったら、いつまで経っても静岡県だ、広いな。

▲月▲日

イベントが無事終了した。校正者の牟田郁子さんと団遊と三人で二時間。ちょっと刺激的なことも織り込んで、楽しく過ごせた。

普段、交流のない世界からのゲスト、どうなるかと思ったが、興味深い事ばかり。自著だけではなく、本を作るって面白いなぁと思った。

後日、あちこちから、この企画の好評を耳にした。私はもう次の一冊を考えているところだ。

▲月▲日

昨日は一日中、連載の新作を描いていた。午前 3 時頃にとりあえず仕上げて寝た。そして今朝は、早速校正に。先日のイベントの余韻か、わが目の校正が厳しくなっている。

仕上げたものに、あちこち直しを入れると良くなる気がするが、ただの気分かも。でも、手を入れるのは楽しい。

▲月▲日

明日は朝から徳島県児相職員向けの一日 WS をする。その前ノリで午後から JR＋バスの道中。好天の瀬戸大橋を渡る。

まとまった読書時間ができるのを待っていたこれを車中読むことに。グラフィックノベルだが、まぁ独特だ。わが業界人には馴染みのある設定だが、これは映画の中でよくみる奇妙さだ。

日本のコミックスは総じて、分かりやすさに従順だ。読むのに一苦労だし、途中で時間切れになったら、再開にエネルギーが要りそうな本だ。

▲月▲日

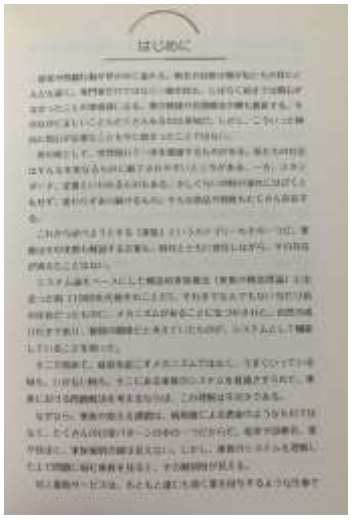
徳島県児相、一年目の人達が多数参加の家族理解 WS 六時間を実施。9 時半から 16 時半まで。用意したプログラム、参加者の顔を見ながら、最終的取捨選択しつつ六時間。意味があると思ってもらえているから 5 年も続いているのだろう。でも、5 年継続勤務の人は今の児相では少数派。

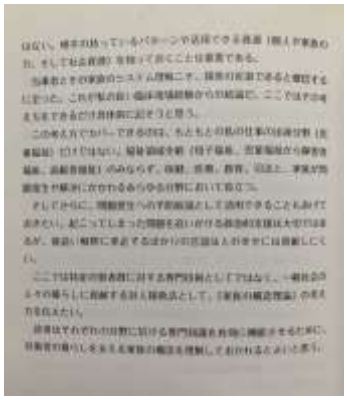
終了後すぐ駅に送ってもらうと、17 時発のバスが停まっていた。それに乗って淡路島を越えて JR 舞子へ。そこから大津までJR一本だ。

▲月▲日
これを観てきた。三時間近いんだ。面白かった。

▲月▲日
2013 年に出た本の印税のお知らせが、お年玉のように届く。仕組みがよく分からなかったので聞いてみた。すると実売数のキリの良いところで精算されるのだという。今回は、7000～8000 部までの印税らしい。まもなく 8 刷で一万部を越すようだがうれしいことだ。手にとってくれた人々に感謝。読み易いですよ。

▲月▲日
印税のことを書いたこの本を久しぶりに手にして「はじめに」を読んでみて驚いた。
今、こんなにわかりやすく過不足なく、この文章が書ける気がしない。10 年経ってもいい本なんだ。未読の方、騙されてみるのも悪くないですよ。（ある人からのメールで、同じことを2017年にも書いてますねと指摘された。調べてみるとその通りだった。私はまったく記憶になかったが、覚えてくれている人、凄い！）





▲月▲日
漫画グループ「ぼむ」の月例会で、消費税にまつわるインボイス制度の話を義弟税理士から聞かされた。細かく聞いたが、結局わからない。
世の中は後からいろんなことを決めて失敗をする。マイナンバーも後から取ったらお得？みたいなキャンペーンを今やっている。あほらしい、どうでもいいやと思った個人事業主です。

▲月▲日

新幹線、窓からの今朝の富士山はこんな風。品川駅近くの東京海洋大学で六時間の WS。二十一人の参加で半分が初参加。

いろんなところから来てくださる東京プログラムだ。私は相変わらずだが、聞いてくれる人たちの状況変化が小さくない。世直しせねば！なんてね。

▲月▲日

二歳近くなって、走り始めた孫と会う予定が、体調不良で延期になった。

ならばと、東京・上野公園に。ネット検索で 13 時からの東京都美術館の入場券が取れたので、「エゴン・シーレ」展に。

妻と中欧を旅した時、ウィーンで訪れた美術館の作品だと思う。クリムトの方が有名だったが、入館散策しながら、ちょっと驚いた展示室のシーレ作品群だった。

わりとよく絵画展に足を運ぶ。そして出向かないものも多くある。理由は、大混雑である。フェルメール展などそうだった。

旅が好きだから、国内外のあちこちの都市の美術館を覗いた。国内はたいてい何か企画展をやっている。そうでないとなかなか見ることのない作品群に触れられる。

しかし海外の美術館では、ほぼ常設展を見ていた。そしていつ行っても結構混雑のニューヨークのMOMAだって、大混雑ってことはない。ルーヴルのモナリザの前だけは、遠方から眺める感じだが、他はどこもそんな風ではない。

ゆっくり、じっくり、ガラスケースなどに入れていない絵画を見られる。スマホで写真を撮るのも自由だ。パリ・オルセー美術館など、超有名印象派絵画と自撮りできる。

日本の美術館だけ、独特のルールで展示している気がする。こんなのは世界標準にしてくれたらいいのだけど。

▲月▲日
　二日間、立命館大学で WS と言うより、集中講演会風のプログラムを極少人数で実施。院生には社会人も含まれているが、いわゆる学生さんに話す機会は少なくなっている。
　あちこちで開催している現任者に向けたものと、そう違えているつもりはないのだが、何かが異なる。キャッチャーの違いを感じている投手気分かな？

▲月▲日
　寒くなるとは聞いていたが、大津の朝は雪！お天気情報もあったが、ここまでとは思っていなかった。
　今日は比較的ゆっくりしたスケジュールだから、様子見ながら仕事場に出かけることに。それにしてもなんだ、先日の上野散策では汗かいてしまったというのに。こんなことをくりかえしながら春なんだろうね。